

平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	医学科 3 年次生を対象とした、夜勤帯を含む看護体験実習
実施組織	医学部医学科
実施責任者	遺伝医学・予防医学講座 准教授 櫻井晃洋
取組の目標	社会人としての基礎的・実践的能力を涵養する体系的な教育の推進
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	1. 看護業務を見学する学生が、リアルタイムに看護師の説明や見学内容を記録し、その後の振り返りに生かせるよう、携帯用記録ペンを導入した。これによって、実習がこれまで以上に円滑に行えるようになった。 2. 実習時の学生が単なる見学ではなく、担当看護師とともに看護業務を体験できるよう、看護に必要な器材を新規に購入した。 3. 当初、実際の実習の状況を記録するための機材の導入を検討したが、すでに所有している機材を転用可能であったため、購入は見送った。実習記録の充実により、学生は自身が経験したり指導を受けたりしなかった看護業務を迫体験でき、また指導にあたった看護師も、指導の内容について後日検討し、今後の実習をさらに向上させるために利用することができる。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	信州大学独自の、全国に例を見ない本実習について、これまで以上にその内容を整備するとともに、指導者が実習を振り返り、次年度以降に反映させるための体制を整えることができた。これにより、今後さらに本実習が教育効果の高い体験実習となっていくと期待される。 本実習も来年度で開始後 10 年を迎える。今回の整備を機会に、これまでの成果をまとめ、今後のあり方を検討する必要がある。